

Art|Basel Hong Kong

プレスリリース

香港 | 2022 年 11 月 17 日

アートバーゼルは、177 軒の主要ギャラリー陣を迎え、2019 年以来最大規模となるフェアを開催。エンカウンターズ、フィルム、キャビネット、そしてカンパセーションズ、その全ての特別プログラムも再開。

- アートバーゼル香港は、世界 32 の国と地域から選ばれた 177 軒の主要ギャラリー陣を迎え、2023 年 3 月、香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）に帰って参ります。これは 2022 年の 130 軒に比して大幅な増加となりました。
- 香港におけるホテル隔離措置が解除されて以来初めての開催となる本フェアでは、今回も世界中から幅広い層の来場者をお迎え致します。
- 初出展となるギャラリーは、中国本土、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、ナイジェリア、南アフリカ、韓国、台湾、イギリス、アメリカより 22 軒予定されています。
- 2023 年度のフェアでは、アートスペース（シドニー）のエグゼクティブ・ディレクターであるアレクシー・グラス・カントワーがキュレーションを担当する大型作品部門のエンカウンターズを始め、テーマに沿ったプレゼンテーションが展開されるキャビネット部門も復活、2019 年以来初めて全ての特別部門が登場する香港フェアとなります。
- アートバーゼルの大中華圏における開発部門責任者で、ギャラリーリレーションズ・アジアの地域責任者でもあった Angelle Siyang-Le が 2022 年 11 月より、アートバーゼル香港に新たに設置されたディレクターに就任致します。
- アデルン・ウーイは引き続きディレクターアジアとしてアジア地域におけるアートバーゼルの主導するその他戦略開発に注力致します。
- UBS をリードパートナーとするアートバーゼル香港は 2023 年 3 月 23 日から 3 月 25 日まで、内覧会（招待制）は 3 月 21 日と 3 月 22 日に開催されます

本日、アートバーゼルは、2023 年度の香港フェアに選出された 177 軒のギャラリーリストを発表しました。アジア、ヨーロッパ、北南米、アフリカの 32 の国と地域からなる出展ギャラリーは、新進気鋭のアーティストや著名アーティストらによる最高品質の近現代作品を発表する予定です。

強力な再参加ギャラリー陣に加えて、今回の香港フェアには 22 軒の初参加が予定されています。その一部に、パリのギャルリ・クリストフ・ガイヤールとルーヴォンブリュック、ケルンのヤン・カブス、ロンドンのヘリー・ナーマド・ギャラリー、ニューヨークのヴィーナス・オーバー・マンハッタン、ニューヨークと香港にスペースを持つデニー・ギャラリー、東京のコウサク・カネチカ、コウタロウ・ヌカガ、タクロウ・ソメヤ・コンテンポラリーアート、そしてユタカ・キクタケ、台北の Yiri アーツ、大阪と渋谷にスペースを持つ YOD ギャラリー、チェジュの ギャラリー2、プネーより Vida Heydari コンテンポラリー、ロサンゼルスイン・ルー、ナポリのウンベルト・ディ・マリノ、シカゴのモニーク・メローキ、アブジャのレトロ・アフリカ、ヨハネスバーグ、ケープタウン、ステレンボッシュに展示スペースを所有する SMAC アートギャラリー、ロンドンのユニオン・パシフィック、上海のギャラリー・ヴェイカンシー、ソウルのホイッスルなどが予定されています。

また今年も、パンデミックによる中断を経て世界から戻ってきた複数のギャラリーも参加する予定です。その一部にマドリードのサブリーナ・アムラニ、ナポリのアルフォンソ・アーティアク、ミラノとロンドンにスペースを持つカーディ・ギャラリー、ベルリンとライブツィヒに展示スペースを所有するガレリ・アイゲン+アート、パリ、ベルリン、ロンドン、マーファにスペースを持つギャルリ・マックス・ヘツラ、ブリュッセルのクサヴィエ・アフケズとギャルリ・ゲルタ・メフト、ロンドンと香港に展示スペースを所有するサイモン・リー、トリノとロンドンからマッツォレーニ、ニューヨーク、東京、サン・バルテルミー島にスペースを所有するファーガス・マカフリー、ロンドンのヴィクトリア・ミロとワディントン・カスト、ニューヨークのペッツェル、バルセロナよりポリグラフィア・オブラ・グラフィカ、ザルツブルク・パリ・パリ・パンタン、ソウル・ロンドンに展示スペースを持つタダエス・ロパック、ロンドンとニューヨークにスペースを所有するティモシー・テイラー、パリよりギャルリ・ジョセリン・ヴォルフ、イスタンブールとベルリンにスペースを所有するズィルベルマン・ギャラリーなどが予定されています。

アートバーゼルは、アジアとアジア太平洋地域からの卓越したアートを紹介することにより一層注力しており、参加ギャラリーの 3 分の 2 以上がアジア太平洋地域に展示スペースを所有しています。今回も香港のギャラリーが 33 軒出展し、香港を代表するフェアとなる予定です。中国本土、台湾、日本、韓国、台湾のギャラリーが引き続き強い存在感を示す一方で、今回は東南アジアやインドのギャラリーによる卓越した展示もご覧いただけます。ギャラリー部門には、ジャカルタの ROH プロジェクト、クアラルンプール・シンガポール・バンコクにスペースを持つリチャード・コー・ファイン・アート、シンガポール・ジャカルタ・ジョグジャカルタのガジャ・ギャラリー、ニューデリーからヴァデーラ・アートギャラリー、そしてシドニーとシンガポールにスペースを持つヤーヴァズ・ギャラリーが出展します。ディスカバリーズ部門では、ホーチミンからヴィン・ギャラリー、バンコクからノヴァ・コンテンポラリー、そして初参加となるプネーの新鋭ヴィダ・ヘイドリ・コンテンポラリーなどが出展します。

シドニーのアートスペース、エグゼクティブ・ディレクターで、第 59 回ヴェネチア・ビエンナーレ、オーストラリア館キュレーターも務めたアレクシー・グラス・カントワーがマルコ・フジナーとのプロジェクトとともに今回で 6 回目となる大規模作品部門、エンカウンターズのキュレーションを担当します。また、マルチメディアアーティストでプロデューサーのリー・ゼンフォアがキュレーションを担当するフィルム部門や、作家で編集者のステファニー・ベイリーによるキュレーションの元、変化するグローバルアートシーンについての対話で広く知られるフェアのトークプログラム、カンパセーションズも戻って参ります。

エンカウンターズ、キャビネット、フィルム、そしてカンパセーションズの詳細については今後数カ月の間に公表される予定です。

来る香港フェアを前に、Angelle Siyang-Le が 2022 年 11 月より新たにフェアの香港ディレクターに任命されたことが発表されました。これまで 10 年間、アートバーゼル香港においてギャラリー・リレーションズ・アジアの地域責任者、並びに大中華圏・開発責任者として従事した Siyang-Le は、アートバーゼルのアジアにおける旗艦フェアのディレクションを担当し、今後の展開を牽引していきます。

ディレクターアジアのアデリン・ウーイは、アジアにおけるアートバーゼルの取り組みの戦略的展開に注力致します。近年のアートバーゼルのアートウィーク東京とのコラボレーションのように、香港とアジア全域における文化シーンの発展を支援するアートバーゼルの活動を拡大するため、同地域におけるフェアの幅広い活動を牽引してゆきます。

アート・バーゼル香港のディレクターである Angelle Siyang-Le は以下のように語っています。

「アートバーゼル香港を率いるという、この新しい役割に就けることを非常に光栄に思っています。チームの同僚やアートバーゼルに関わる全てのコミュニティの皆様と共に、アジア最大のアートフェアという地位をより強固なものにしてゆきたいと考えています。同様に、香港の活気ある文化コミュニティと緊密に力を合わせ、共に地域を牽引する文化的ハブを作り上げてゆく所存です。来たる 3 月、再び出展ギャラリーやパトロンの皆様を我々のフェアにお迎えし、香港に世界の注目を集められることを嬉しく思います。」

アートバーゼル、アジアディレクターのアデリン・ウーイは以下のように語っています。「Angelle が香港フェアの新たな局面を導いてくれることを大変嬉しく思います。10 年近く彼女と一緒に仕事をしてきましたが、Angelle の指導の元、フェアは益々力強く成長すると確信しています。並行して、私はアジアの多様で活発なアートシーンを強化・育成するという我々の使命に沿い、この地域におけるアートバーゼルの幅広い取り組みを引き続き牽引していけることを嬉しく思いますし、それが香港でフェアを開催するというアートバーゼルの核をなす取り組みを補完するものだと考えています。」

ギャラリース部門

このメイン部門では、世界有数の 134 軒のギャラリーが、それぞれのプログラムの中から最高品質の作品を紹介します。部門では再びアジアと世界各地の多様なアートシーン、その類稀な概観を取り上げます。主なハイライトは以下の通りです。新進気鋭のギャラリー、ヴィーナス・オーバー・マンハッタンは**ピーター・ソール**の東アジアにおける初の個展を展開、同時に美術史に関わる重要な歴史的絵画や最近の絵画も紹介いたします。マインドセットアートセンターからは**ラオ・フー**の新作が展示され、異文化受容をテーマに継続されているリサーチから、壁掛け絵画や紙作品、初公開となる陶磁器彫刻などが紹介されます。ロッシ&ロッシからは**ラシード・アライーン**の回顧展として、初期の人物画から彼の代表作として知られるミニマル彫刻に至るまで、その複雑な実践が検証されます。ヴィタミン・クリエイティブスペースからは**ヤン・ヴォー**のインスタレーション作品が紹介されます。作品はベルリン北部の田園地帯において少人数のメンバーによって設立された農園、ギェルデンホーフでのヴォーの実践からインスピレーションを得ており、ギェルデンホーフと広州に所在するリ・スペース・リサーチプロジェクトとの長期にわたる植物に関する対話が反映されたものとなっています。また思文閣からは、**森田子龍**、**井上有一**、**比田井南国**、**篠田桃紅**など、戦後日本の前衛書道運動を代表するアーティストによるグループ展が開催されます。

ギャラリー部門の全参加ギャラリーリストは、artbasel.com/hongkong/galleries をご参照下さい。

インサイト部門

アジアとアジア太平洋地域のアーティストに特化したインサイト部門では、今年も 19 軒のギャラリーが参加致します。ハイライトは以下の通りです。タクロウ・ソメヤ・コンテンポラリーアートは戦前日本の前衛芸術運動の中心的存在であった斎藤義重が 1970 年代に制作した楕円形のレリーフ作品を、ギャラリー・ヴァズーからは、中国における抽象画のバイオニアとして知られる**チュアン・チェ**の 1960 年代から現在に至る作品 10 点が、初参加となるデニー・ギャラリーからは、**アミール・H・ファラー**による新作絵画と壁画作品が展示されます。作品は作家の持つイランの伝統と文化の歴史が中国との交差の視点で検証され、両国における文化的パートナーシップの歴史に言及しています。偏鋒新藝術空間 (Pifo Gallery) からは**呉建安**の作品群が、新規参加の YOD ギャラリーからは著名なモノ派作家である**小清水漸**の一連の彫刻作品が展示されます。フラワーズ・ギャラリーからはミャンマーの少数民族であるイスラム教徒のロヒンギャの多くが迫害から逃れてきたラカイン州の都市・シットウエで集められた貝やビーズで刺繍された**ジャカイ・シリブート**による 21 枚から成る旗をイメージしたインスタレーションが紹介されます。

インサイト部門の全参加ギャラリーリストについては、artbasel.com/hongkong/insights をご参照下さい。

ディスカバリーズ部門

個展形式で新進アーティストを紹介するディスカバリー部門には、今年も 24 軒のギャラリーが参加致します。ハイライトは以下の通りです。初参加となる新進気鋭のレトロ・アフリカからは**ビクター・エヒカメナー**による、ロザリオビーズ作品や紙に描かれた「パーフォレーション（ミシン目）」作品、ベニン文化のモチーフからインスピレーションを得た絵画などが展示されます。2019 年以来の実参加となるロサンゼルスからのコモンウェルス・アンド・カウンスルは、西部カウボーイ文化の探求と同時に、アジア系アメリカ人の男らしさの均質化された構図を問う**ケネス・タム**によるプロジェクト「サイレント・スパイクス」を紹介します。また、こちらも初参加となるギャラリー・ヴェイカンシーからは、**シドニー・シェン**による新たなプロジェクトが発表されます。遊園地の形式を模したインスタレーションと椅子を組み合わせ、階級的な権力構造とユートピア的理想としての個人の自由の均衡を保つものとしてカーニバルの考察が展開されています。バンコクのノヴァ・コンテンポラリーはタイ人アーティスト、**クウィタ・ヴァタナヤンカー**の現在進行形「Field Work」シリーズより、現代における農家の苦境や労働状況の混乱、工業化された農業の将来について探求する 5 チャンネルのビデオインスタレーションを展示致します。また初参加となる、プネーの新鋭ヴィダ・ヘイドリ・コンテンポラリーは、インド人アーティスト、**M・ブラヴァット**が建設中の都市の様々な側面を描いた新作「Concrete Dusk」を発表する予定です。

ディスカバリーズ部門の全参加ギャラリーリストについては artbasel.com/hongkong/discoveries をご参照下さい。

編集者の皆様へ

アート・バーゼルについて

1970 年、バーゼルのギャラリストたちによって設立されたアート・バーゼルは、近現代アートを紹介する世界随一のアートフェアを、バーゼル、マイアミビーチ、香港、そしてパリで開催しています。開催都市と地域によってそれぞれのフェアには独自性が生まれ、それは参加ギャラリーや展示作品、また各回毎に地元機関とのコラボレーションの元同時開催されているプログラム内容にもあらわれています。アート・バーゼルの役割はアートフェアの領域を超えて拡大しており、新しいデジタルプラットフォームやアート・バーゼルと UBS によるグローバル・アートマーケット・レポート、インターセクションズ: アート・バーゼルポッドキャストや BMW アートジャーニーなど多くの新しいイニシアチブを展開しています。詳しくは artbasel.com をご参照下さい。

パートナーズ

UBS & コンテンポラリーアート

アートバーゼルのリードパートナーである UBS は、長年にわたり、現代アート並びにアーティストの支援を続けてきました。同社は世界的に最も優れた企業アートコレクションのひとつに数えられるコレクションを保有しており、アートバーゼルのグローバル・リードパートナーシップを通じて、また「アートバーゼルと UBS | グローバルアートマーケットレポート」の共同発行者として、また、インターセクションズ：アートバーゼル・ポッドキャストの共同プレゼンターとして、アート市場における国際的な対話促進に務めています。UBS はまた、スイスのバイエラー財団、オーストラリアのニューサウスウェールズ州立美術館などの美術機関とも提携しています。同社は UBS コレクターサークル並びに UBS アートアドバイザーの活動を通じて、アートマーケットや蒐集、レガシープランニングに関する知識をクライアントに提供しています。UBS による現代アートへの取り組みの詳細については、ubs.com/art をご参照下さい。

アートバーゼルの**アソシエイトパートナー**は、オーデマ・ピゲです。同社の現代アートコミッションングプログラムである「オーデマ・ピゲ・コンテンポラリー」は、アーティストと協働し、まだ実現していない作品制作の支援を通して彼らの新たな実践に貢献しています。アートバーゼルはまた、BMW、ラ・プレーリー、ルイナール、サンロレンツォ、On による支援も受けています。

アートバーゼル香港は、テソス、香港政府観光局、スワイヤ・プロパティーズ（太古地産）、ザ・ベニンシュラ、ローズウッドホテルズ&リゾーツ、そしてクインテセンシャルリーの支援も受けています。また、アートバーゼルのグローバルメディアパートナーはフィナンシャルタイムズです。パートナーシップについての詳細は artbasel.com/partners をご覧下さい。

アート・バーゼル香港 選考委員会

マッシモ・デ・カルロ、マッシモ・デ・カルロ（香港/パリ/ミラノ/ロンドン/北京）

エミ・ユ、STPI（シンガポール）

デヴィッド・モーピン、リーマン・モーピン（ニューヨーク/ロンドン/ソウル/香港）

ウルス・ミーレ、ギャルリ・ウルス・ミーレ（北京/ルツェルン）

蜷川敦子、タケナガワ（東京）

ボヨン・スン、クッチェ・ギャラリー（ソウル/釜山）

張巍（Zhang Wei）、ヴィタミン・クリエイティヴ・スペース（北京/広州）

ディスカバリーズ及びインサイト部門のエキスパート：

ヴァネッサ・カルロス、カルロス/イシカワ（ロンドン）

ジュン・ティアタジ、ROH プロジェクト（ジャカルタ）

サイモン・ワン、アンテナスペース（上海）

内覧会（招待制）

2023年3月21日（火）・3月22日（水）

ヴェルニサージュ

2023年3月23日（木）

一般公開

2023年3月24日（金） - 3月25日（土）

プレス認定

オンラインでのアートバーゼル香港へのプレス認定への登録は、1月の開始を予定しています。詳細は artbasel.com/accreditation をご参照下さい。

今後のアートバーゼル開催予定

マイアミ・ビーチ、2022年12月1日-3日

香港、2023年3月23日-25日

バーゼル、2023年6月15日-18日

Paris+ par アートバーゼル、2023年10月19日-22日

オンラインプレス情報

プレス情報、画像は artbasel.com/press から直接ダウンロードしていただけます。報道関係者はメディアメンバーリストにご登録いただくと、アートバーゼルの情報を受け取ることができます。

アートバーゼルに関する最新情報は artbasel.com をご覧ください。また、Facebook ページ facebook.com/artbasel、Instagram・Twitter・Wechat では [@artbasel](https://twitter.com/artbasel) にてフォローして頂けます。

プレス連絡先

アートバーゼル | Fay Pang

電話 +852 3575 8487、press@artbasel.com

アジア向け PR 担当

SUTTON | Carol Lo

電話 +852 2528 0792、carol@suttoncomms.com

欧州向け PR 担当

SUTTON | Joseph Lamb

電話 +44 7715 666 041、joseph@suttoncomms.com

南北アメリカ、中東、アフリカ向け PR 担当

FITZ & CO | Yun Lee

電話 +1 646 589 0920、ylee@fitzandco.com